



大砂土中だより

はっ らっ

澆 刺 と

さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.6 平成28年9月30日号

「学び」について考える

校長 清水 一司

「中国・四国地方の人口分布図を見ると瀬戸内地方に人口が集中していることが分かります。なぜ瀬戸内地方に人口が集中しているのでしょうか。」この授業者の発問に対し、生徒からは「交通網が発達しているから」「農業や漁業が盛んだから」などの反応がありました。これらは、生徒の学習経験を踏まえ授業者が予想していた反応です。この反応を待って、授業者は学習課題を「瀬戸内地方の交通の広がり調べよう」と設定しました。

これは、今月実施した2年生社会の授業冒頭の様子です。この後、生徒は中国・四国地方の鉄道や高速道路、空港の位置などを注意深く白地図に記入し、読み取った情報に考察を加えて瀬戸内地方に人口が集中している理由を熱心にまとめていました。この授業は地域の形成に歴史的背景や産業が関わっていることや、過疎・過密問題の解決が課題になっていることなどを理解することをねらいとしています。私は、自分なりの考えをまとめている生徒の姿を見て、十分にねらいの達成が期待できると感じました。

「読書に夢中になった」「楽器の演奏に夢中になった」といった経験をおもちの方は多いと思います。不思議なことに、好きなことに没頭していると時間が早く経つように感じます。授業も同じで、楽しいと思えば時間が早く経つように感じ、実際には努力していても努力しているという意識をほとんどもたずにいられるものです。このような状態にある時は質の高い学びが可能になると考えていますが、このような状態にするためには、授業者が学習課題に対する生徒の興味・関心をいかに高めるのが重要になります。今回の社会の授業は、瀬戸内地方の人口分布に着目させ、そこから生じる生徒の反応を基に学習課題を設定するように工夫しています。これにより生徒の学習課題に対する興味・関心と課題解決への意欲を高めることができたのではないかとみています。一般的に授業には「知識や技能を教わる」という受動的なイメージがありますが、この授業には生徒が課題解決に向けて能動的に学習している様子がありました。おそらく、生徒の多くは授業時間が早く経つように感じていたと思います。私は、知識や技能は与えられるものではなく自ら獲得していくものであり、その過程に本来の学びがあると考えていますが、この授業には、私が考える本来の学びが存在していたと評価しています。

さて、先日実施した本校文化祭には、たくさんの保護者や地域の皆様にご来校いただきました。皆様には本校生徒の日頃の学習成果や、澆刺と活動する姿をご覧いただくことができたものと思います。また、本校文化祭の特色である体験出前講座は、70名の講師の皆様にご協力いただき20講座で実施することができました。ありがとうございました。体験出前講座では、講師の皆様の丁寧なご指導により、多くの生徒が活動の魅力や価値に迫ることができたのではないかと考えています。また、生徒にとって時間が経つことを忘れてしまうほど活動に夢中になれた経験、活動を追究する講師の皆様の考え方に触れた経験は、本来の学びの在り方に気付くきっかけになったのではないかと考えています。